



図書館見学会を実施しています

町内の保育園の年長クラスを対象とした図書館見学会を実施しています。図書館の裏側など普段入ることができない場所を見学した園児のみなさんは、とても興味深い様子でした。あわせて、ボランティアさんによるおはなし会も行われ、楽しそうにお話に聞き入っていました。



《5/15 犀川のぞみ保育園のみなさんが来られました》

《小説》

新刊案内

《その他》

- 『サロメの断頭台』 夕木春央(著) 講談社
- 『絶対零度のテロル』 知念実希人(著) 実業之日本社
- 『女盛りはハラハラ盛り』 内館牧子(著) 幻冬舎
- 『母を捨てるということ』 おおたわ史絵(著) 朝日新聞出版
- 『俺たちの箱根駅伝 上・下』 池井戸潤(著) 文藝春秋
- 『川崎警察真夏闇』 香納諒一(著) 徳間書店

- 『三淵嘉子と家庭裁判所』 清水聡(編著) 日本評論社
- 『近代天皇制と伝統文化』 高木博志(著) 岩波書店
- 『私たちはなぜ、学び続けるのか』 池上彰(著) 日経 BP 日本経済新聞出版
- 『フワフワするめまいを治す最強の食事術』 坂田英明(著) 徳間書店

《電子書籍》 ※パソコンやタブレット、スマートフォンから電子書籍を借りて読むことができます

- 『るるぶ北海道'25』 JTB パブリッシング
- 『はじめてでも簡単!失敗しない!“梅ごと”を楽しむ梅干しと梅酒』 若宮寿子(著) プティック社
- 『体の内側からきれいになる麴のレシピ』 阿部かなこ(著) KADOKAWA
- 『魔眼の匣の殺人』 今村昌弘(著) 東京創元社
- 他

6月



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

おはなし会(会場:本館) 0~2歳くらい(11:00~) 3歳くらいから(11:00~)

休館日 毎週月曜日 毎月最終木曜日 開館時間 本館 10:00~18:00 分室 12:30~17:00

※最新の情報はホームページをご確認ください。

## 図書館員おすすめの本

### 『楼蘭王国：ロブ・ノール湖畔の四千年』

赤松 明彦(著/文) 中央公論新社(2005)

「楼蘭王国」は紀元前2世紀頃にシルクロードの要衝として栄えましたが、歴史書に「楼蘭」の名が記録されたのは50年間程度です。その後は周囲の大国や遊牧民に翻弄されながらも国名を変え、オアシスの道の諸都市を支配下に置きながら数百年存在しました。

歴史書や発掘資料から楼蘭の歴史や文化について解説しています。[佳]



### 『最初の質問』

長田弘(詩) いせひでこ(絵) 講談社(2013)

「今日、あなたは空を見上げましたか。」という最初の質問から始まります。ひとつひとつ問いかけの答えを考えながら、自分自身を深く見つめなおすことができる一冊です。そして、最後の質問は、たくさんの言葉に溢れている今の時代に問いかけている気がします。[ま]



### 『家庭裁判所物語』

清水聡(著) 日本評論社(2018)

家庭裁判所の父といわれる宇田川潤四郎は、審判が終わった少年の手を握ってこう言ったそうです。「ここにいる人たちはみんな君の味方だ。君の未来を一生懸命考えているんだ。どうか、どうか、これから頑張るんだよ。」著者がいう「根底にヒューマンズムが流れる司法機関」の家裁の理念はどのように生まれ、引き継がれていったのか、膨大な資料をもとにつづられています。また、NHK朝ドラ「虎に翼」の主人公のモデル三淵嘉子の一面も垣間見ることができ一冊です。

[i i]



### 『もうすぐ50歳調子のいい日がほとんどありません』

フカザワナオコ(著) 幻冬舎(2023)

女性は50代になると体に色々な不調が出てきますよね。不調の対策方法を無理せず気長に上手く付き合っていきたいと思わせてくれる一冊です。

[あーちゃん]



### 『ピカデリーパズル』

ファーガス・ヒューム(著) 波多野健(編訳) 梶本ルミ(訳) 論創社(2017)

2年間の外国旅行からロンドンに戻った青年が舞踏会からの帰途、濃い霧の中で道に迷い、偶然出会った警官にホテルまで案内されますが、その後…。

巧妙なパズルを解き明かす主人公と複雑なキャラクターたちが織り成す驚きと興奮に満ちた冒険をお楽しみください！ [び]



### 『大ピンチずかん』

鈴木のりたけ(著) 小学館(2022)

おとなが読んででも楽しい日常的なピンチが登場する話です。子どもさんお孫さんに読んであげると楽しいかもしれません。

ぜひ、手にとってみてください。

[SPOCK]



雨が多くなる6月。梅雨ならではのジメジメとした気候に気分も沈みがちになりますが、ちょうどこの時期に園芸店などに行くと、数多くの種類のアジサイを見かけることも多いのではないのでしょうか。雨にぬれると一層鮮やかさがまして、憂鬱な気持ちも晴れそうです(^^)

[はりねずみ]



電子図書館



みやこ町図書館HP